

第 1 回あまがさき医療介護在宅塾

尼崎市内の在宅医療に関する勉強会として、1 回目の「尼崎医療介護在宅塾」が、2 月 22 日（木）18：30 からハーティホールにて開催されました。

メインテーマは、「初めての在宅医療 ～みんなで支える在宅医療～」で、講義と座談会の 2 部構成で会が進行しました。セミナーやフォーラムと言う堅苦しい形態ではなく、参加型勉強会と言う形で、多職種が集まったのワイワイとした座談会になりました。



参加者は、なんと総勢 99 名、その内医師が 30 名ほどで、これから在宅医療を取り組みたいという先生も、10 名弱ほどおられました。

また、内科・外科以外の医師の参加もあり、皆さん、日常の診療でもありました。皆様感じておられるのでしょうか？

講義

講師：長尾クリニック 長尾和宏医師

- ・ 今、医療現場が置かれている状況、そして、なぜ、在宅医療が必要なのかを前置きに話をされました。
- ・ 在宅医療が増えてきていることは言うまでもないことで、長尾クリニックでも、年間 120 人の看取りをおこなっているのが現状。
- ・ 今、患者や家族が、医療チームと相談を繰り返しながら治療や療養の方針を決めていく「アドバンスケアプランニング（ACP）」が注目されているが、特に、在宅医療では、患者の希望や生活を尊重することが大切で、今後、ACP を普及させる必要がある。かかりつけ主治医は、患者さんが元気なうちから、家族や周りの人たちと、本人の価値や目標や好みを話し合っておきましょ。 「もしバナゲーム」等を活用する方法もあります。
- ・ 本格的に訪問診療をおこなうならば、在宅療養支援診療所の施設基準の届け出が要りますが、在宅医療への取っ掛かりとして、まずは、患者の自宅訪問にて家の様子を見て、患者に会うことから始めたら良い。



お知らせ

尼崎市在宅医療・介護連携協議会で作成した
「尼崎市在宅療養ハンドブック」の説明
(尼崎市行政から)



多職種座談会

【何から始めれば…? こんな時どうすれば…? そして、最期の看取りはどのように?】

市内で一体化した多職種連携によるチームアプローチを目指してあまつなぎが開設されました。あまつなぎでは、関係者からの相談・依頼の支援、医療機関や介護施設の資源把握、多職種間ネットワークの構築、多職種の学びの場の企画をしていきます。



在宅療養は、本人と家族の納得の医療です。

訪問診療を始めるにあたって、患者本人や家族には、訪問診療の必要性やこれからの治療・療養の方針をきっちり説明することは不可欠です。

容態悪化など何かあった時の対応を、家族を含め多職種チームで話し合い、合意形成をしておきましょう。

在宅医療は、言うまでもなく、多職種によるチーム医療です。訪問診療を始めるならば、必要な職種と積極的に連携をとりましょう。特に、ケアマネや訪問看護の存在は大きく、医師はプライドを捨てて、ケア会議などで皆で顔を合わせ意見交換していくことが大切です。

多職種での情報共有は大切。

生活のことは司令塔であるケアマネに聞きましょう。

訪問看護は、末期の方でも、独居の方でも入院中と同じように看護します。

薬剤師は、薬をお家まで届け、カレンダーセット・一包化などの工夫、服薬確認もしてくれます。

在宅医は、一人で業務を抱え込まないで、病院と同じように訪問看護師と上手に連携しましょう。

訪問看護とケアマネがしっかりしていたら、主治医は助かります。

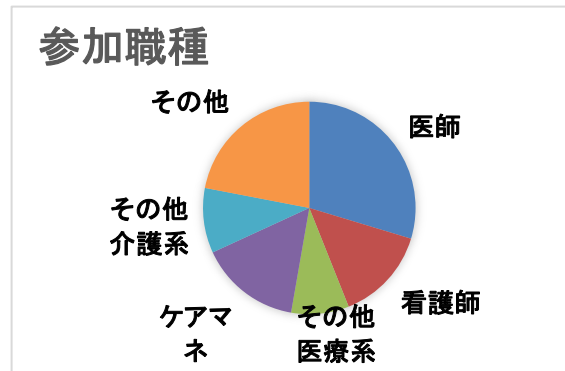
【追加】

在宅医をはじめ、多職種において、現場でのお困り事があれば、遠慮なく“あまつなぎ”へご相談を！

医療介護塾アンケート

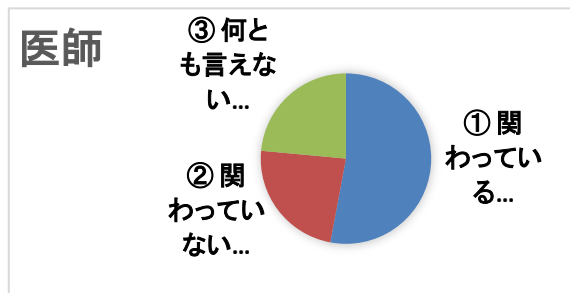
1 参加者職種

	参加者
医師	27
看護師	13
その他医療系	8
ケアマネ	14
その他介護系	9
その他	20
合計	91

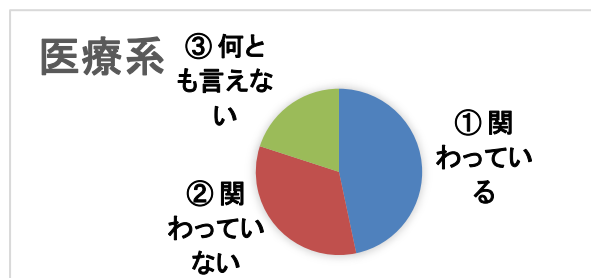


3 現在、在宅診療に関わっておられますか？

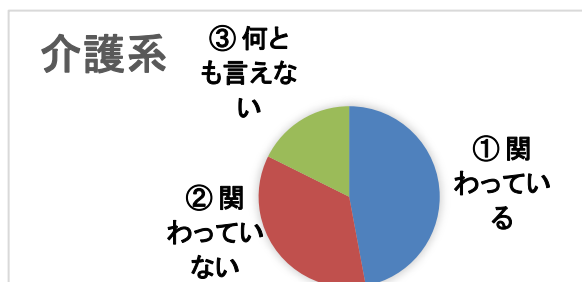
医師	
① 関わっている	9
② 関わっていない	4
③ 何とも言えない	4



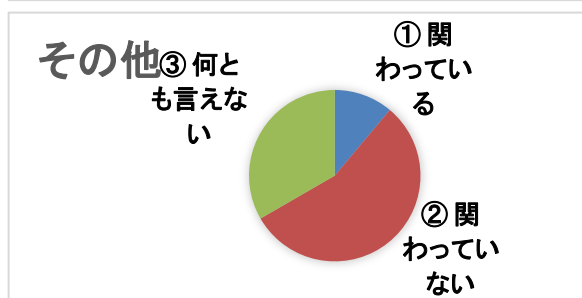
医療系	
① 関わっている	7
② 関わっていない	5
③ 何とも言えない	3



介護系	
① 関わっている	8
② 関わっていない	6
③ 何とも言えない	3



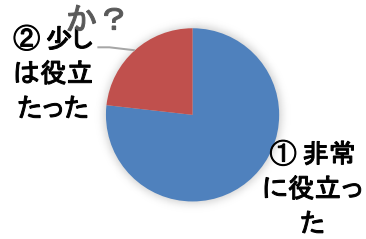
その他	
① 関わっている	1
② 関わっていない	5
③ 何とも言えない	3



4 今回の講義は、役立ちましたか？

① 非常に役立った	43
② 少しは役立った	13
③ あまり役立たない	0
④ 何とも言えない	0

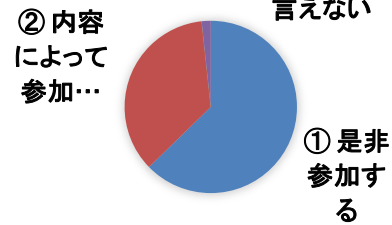
今回の講義は役に立ちました



5 次回も参加されたいですか？

① 是非 参加する	37
② 内容によって参加する	21
③ 参加しない	0
④ 何とも言えない	1

次回も参加されたいですか？



6 この在宅医療介護塾の開催は、何か月毎が適切と思いますか？

① 2～3か月毎	36
② 4か月ごと	14
③ 6ヶ月毎	4
④ 何とも言えない	5

この研修は何カ月毎が適切ですか？

